

WideQRS について



右脚ブロック・左脚ブロック
WPW症候群・非特異的心室内伝導障害

WideQRSについて

幅の広いQRS波の心電図所見を覚えよう！

脚ブロック

右脚・左脚に障害がある状態

WPW症候群

副伝導路が存在する状態

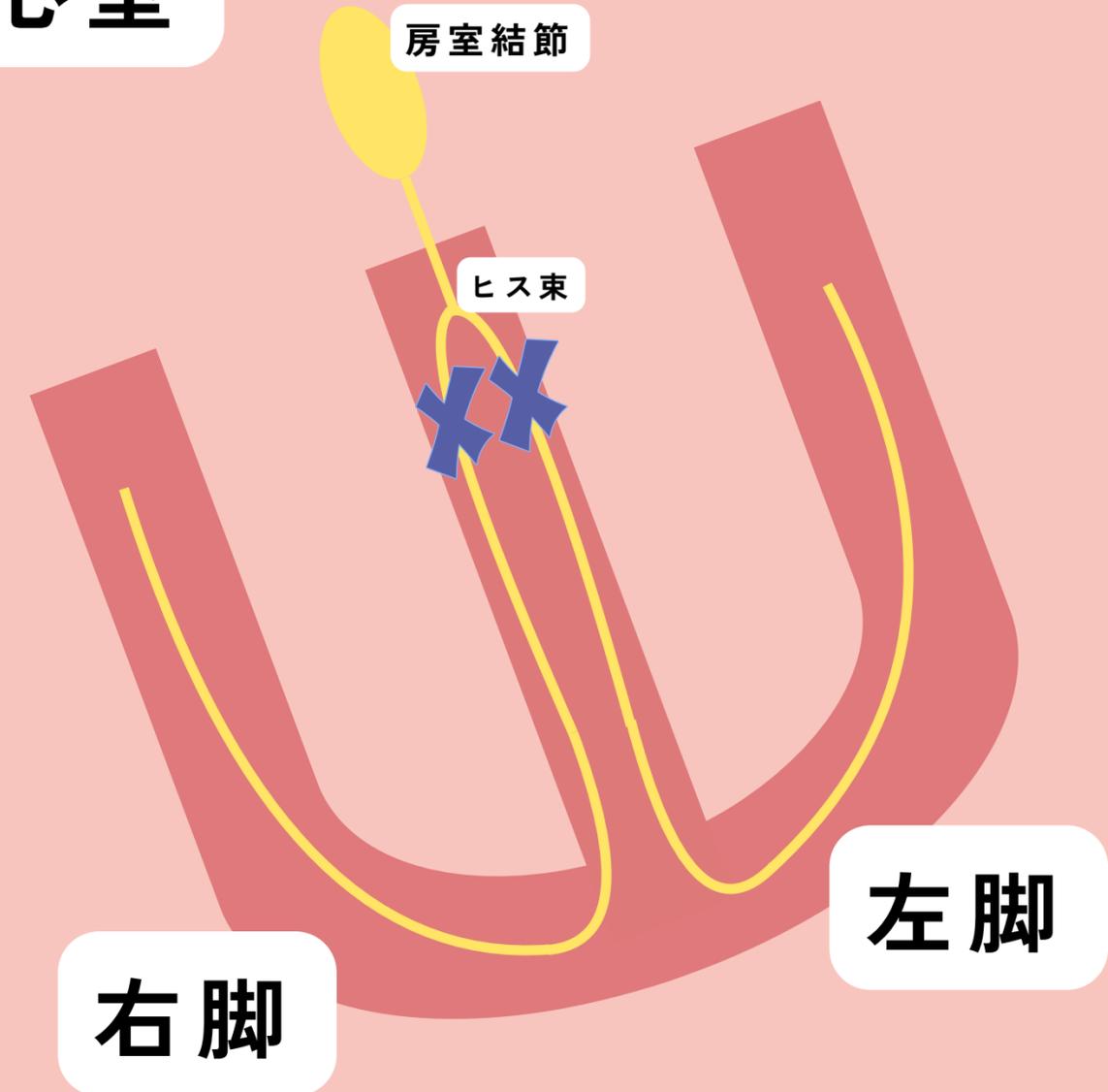
非特異的心室内伝導障害

典型的な伝導障害の形をとらず、心室内での電気信号の伝わり方に異常がみられる状態

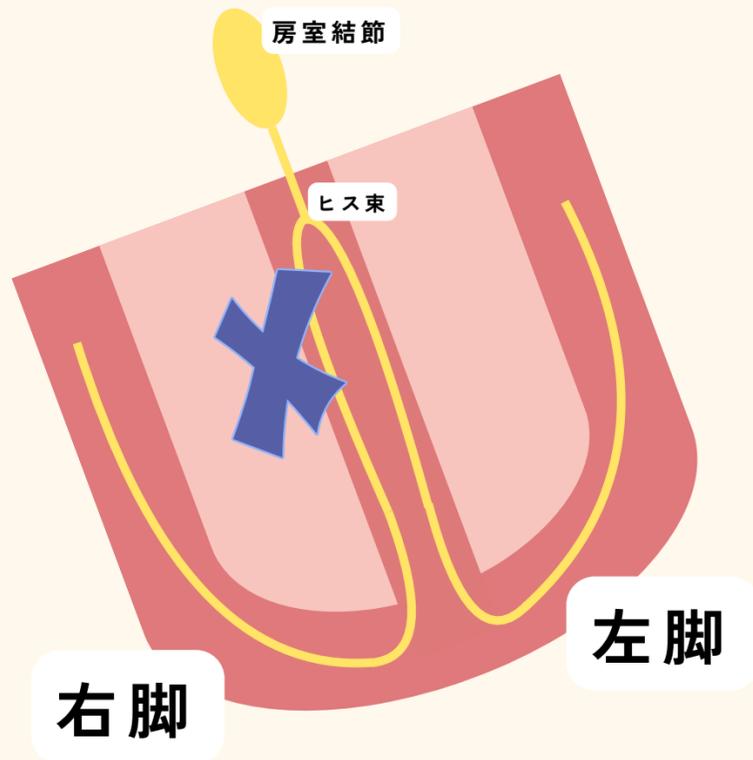
脚ブロックとは？

脚ブロック（BBB）は、心室内に電気を伝える経路（右脚・左脚）に障害がある状態で、疾患というより「伝導の遅れ」を示す所見です。ヒス束から分かれる右脚・左脚、そして末梢に広がるプルキンエ線維は、心室全体に電気信号をすばやく均一に伝えるための“高速伝導路”です。これにより、左右の心室が同時に効率よく収縮します。しかし、脚に障害がある则この高速ルートが使えなくなり、電気は心筋細胞を介してゆっくりと伝わる迂回ルートを通ることになります。その結果、心電図ではQRS波が広がる（延長する）所見が現れます。脚ブロックは、背景に心疾患があることもありますが、必ずしも病気とは限らず、心室内の電気伝導異常のひとつとして捉えることが重要です。

心室

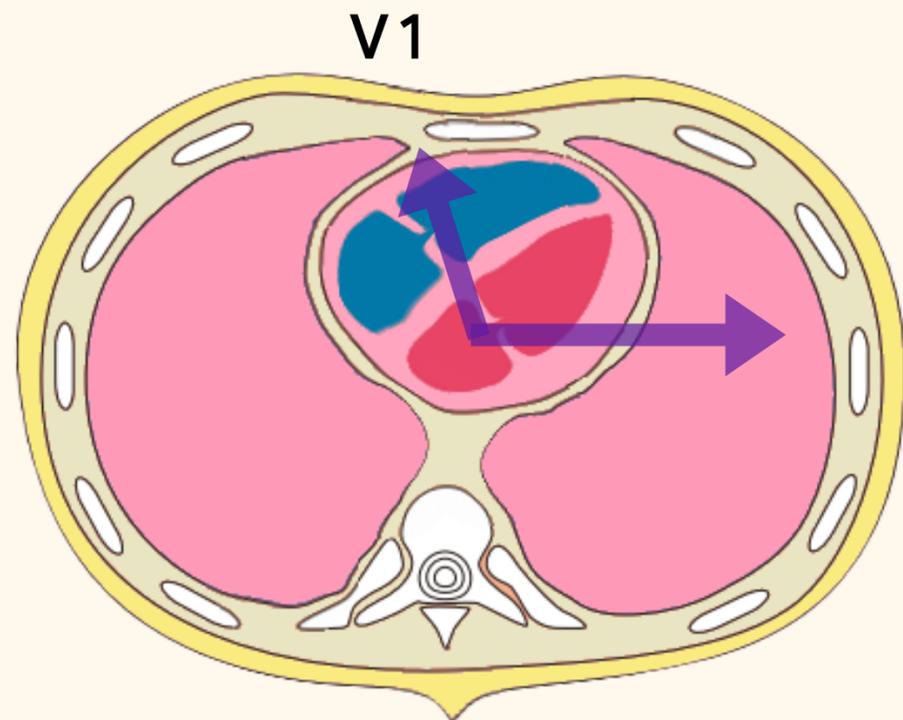


右脚ブロック (CRBBB)

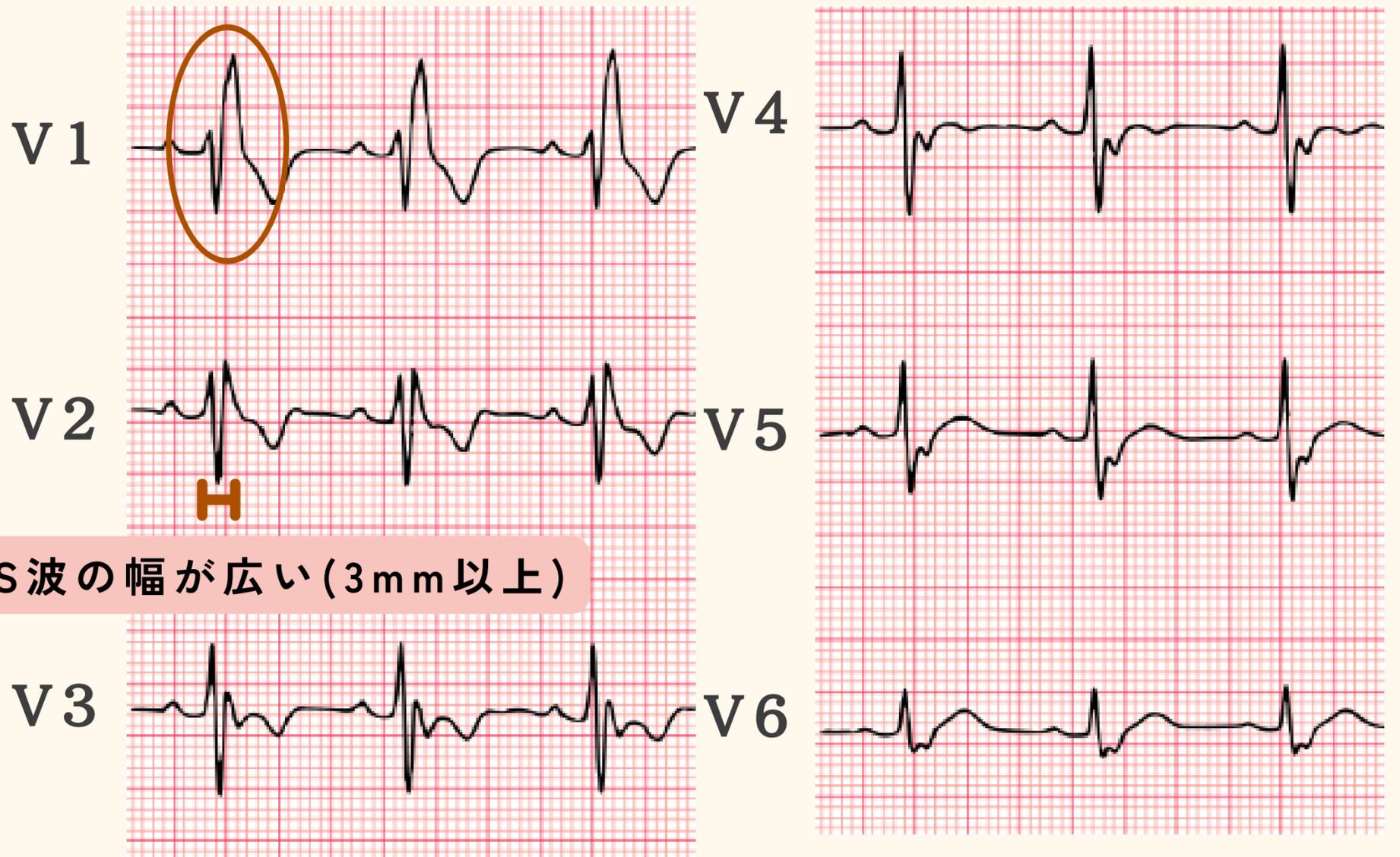


右脚

左脚

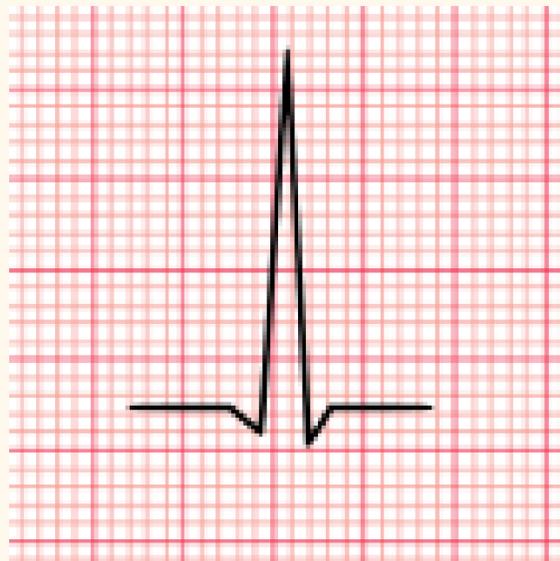


① V1誘導において、rsR'型

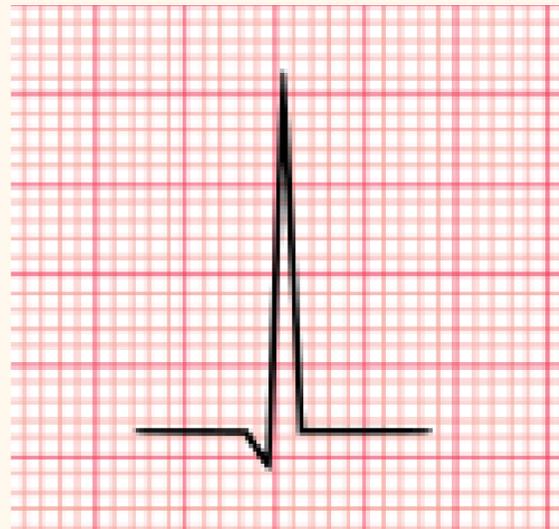


QRS波の幅が広い(3mm以上)

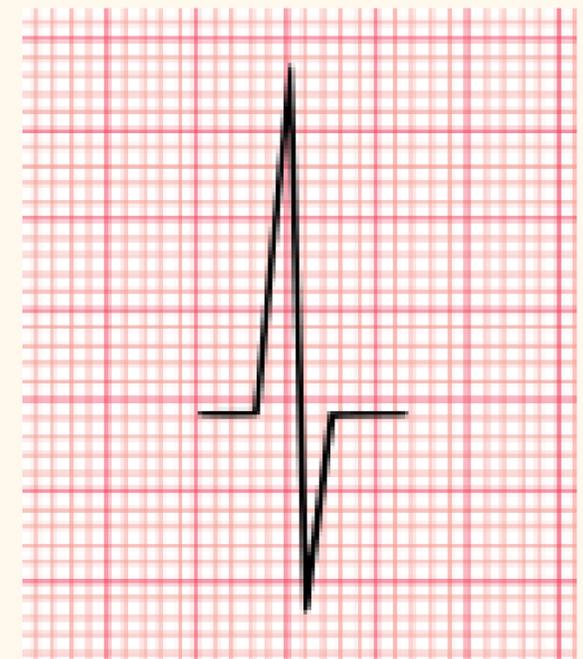
QRS波形の読み方



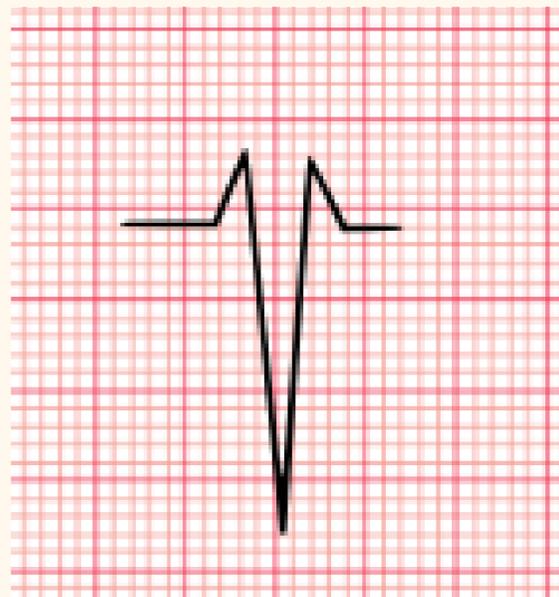
qRs



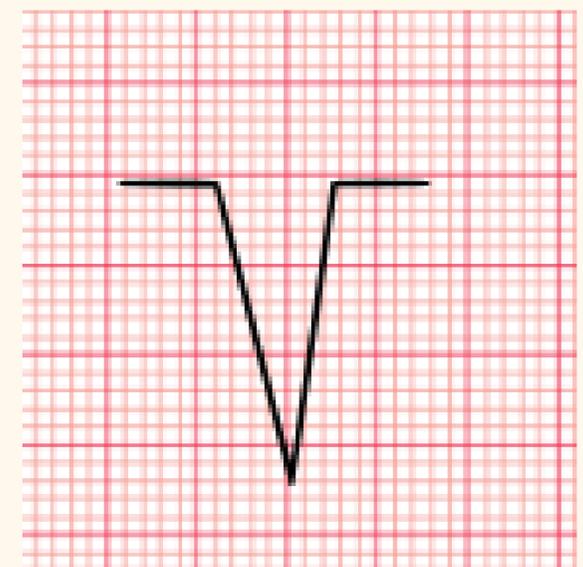
qR



RS

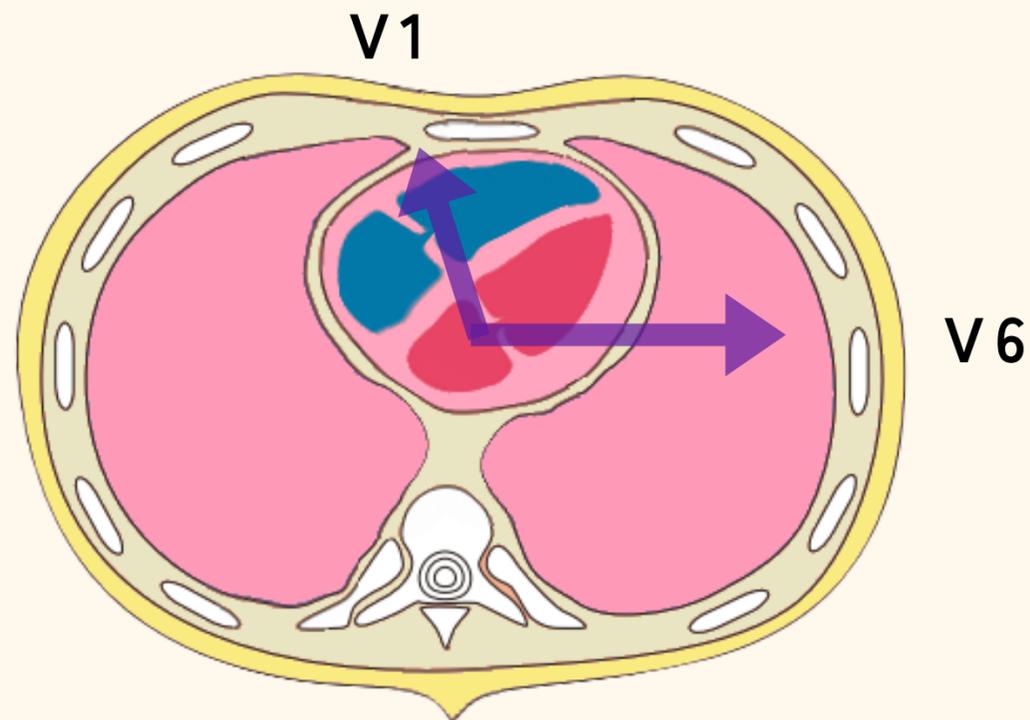
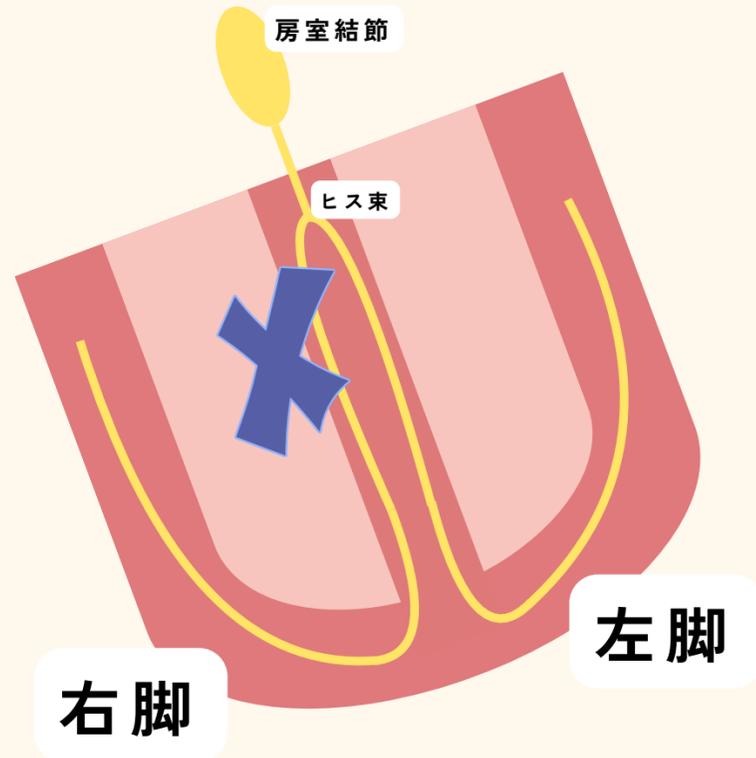


rSr'

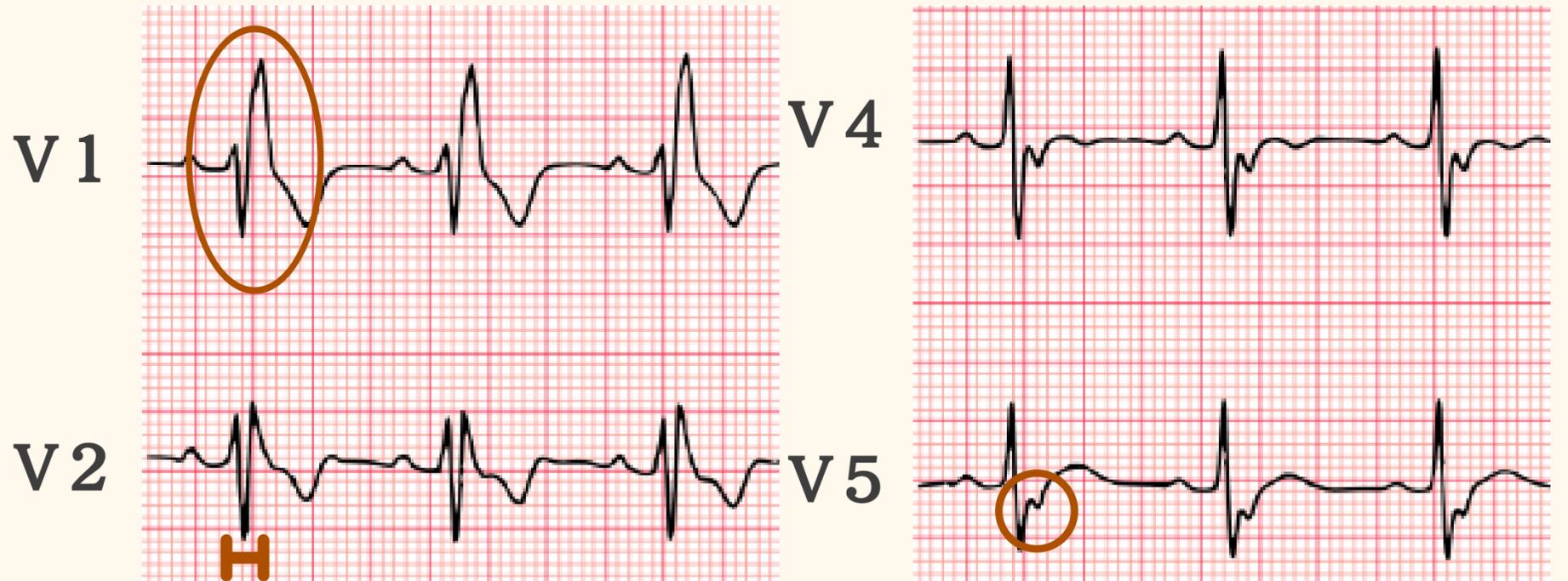


QS

右脚ブロック (CRBBB)



① V1誘導において、rsR'型

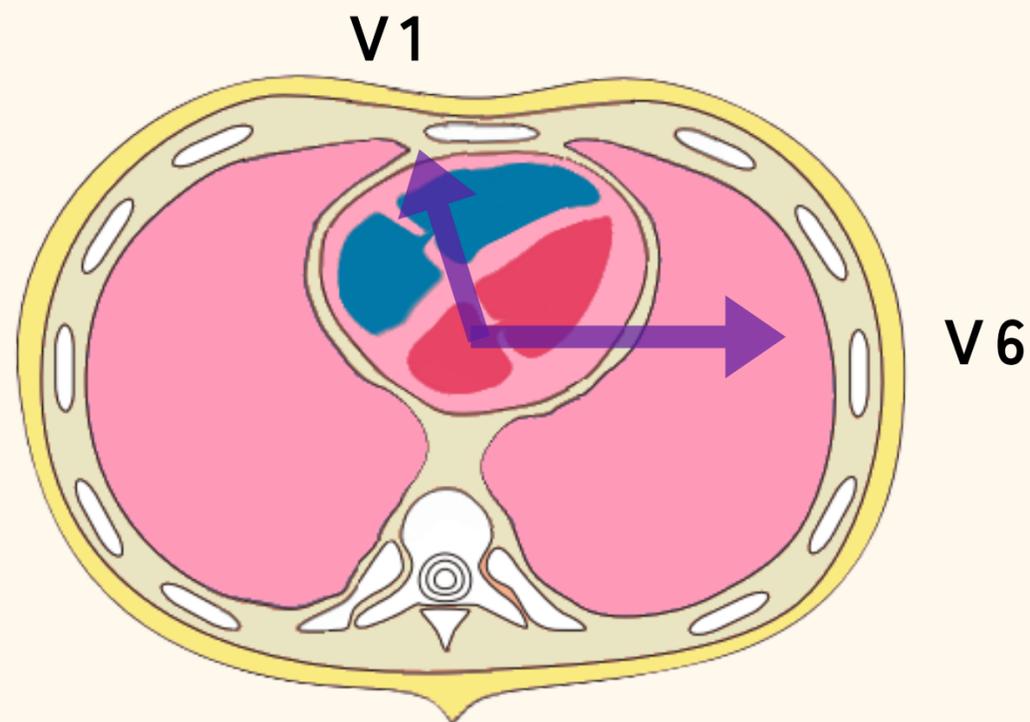


QRS波の幅が広い(3mm以上)

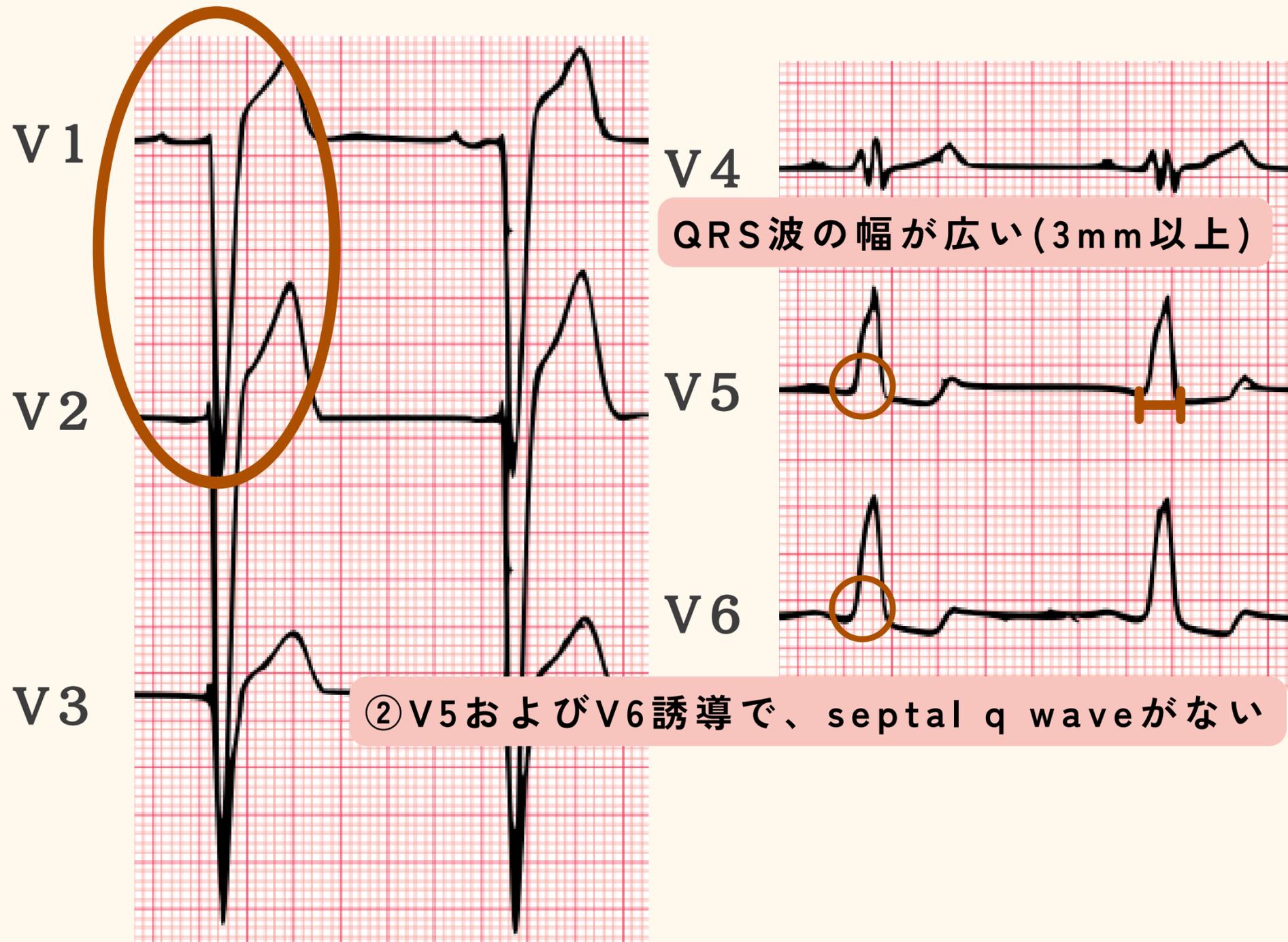
② V5およびV6誘導で、S波が広い



左脚ブロック (CLBBB)

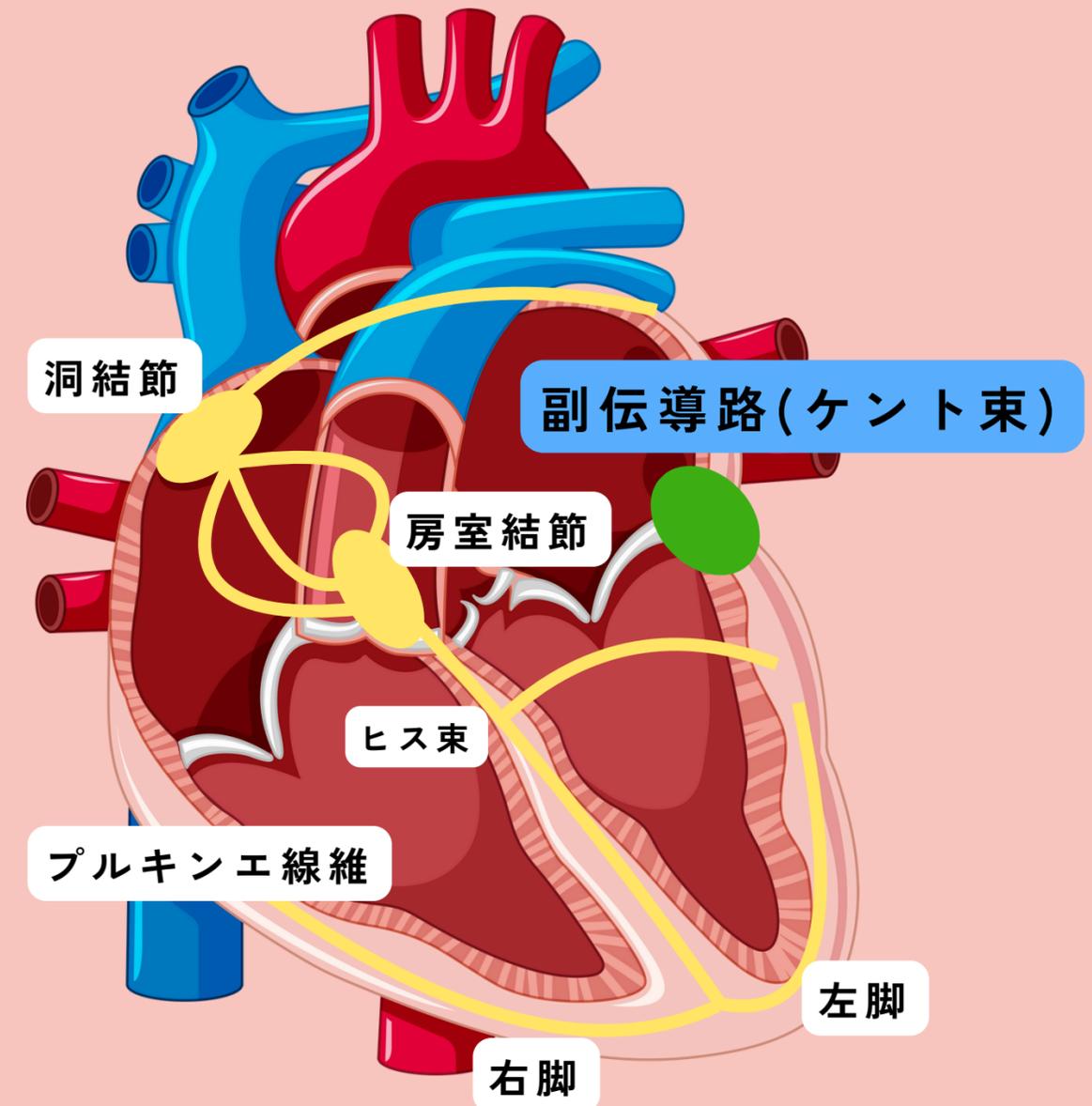


① V1誘導において、rS型で幅が広くて深い

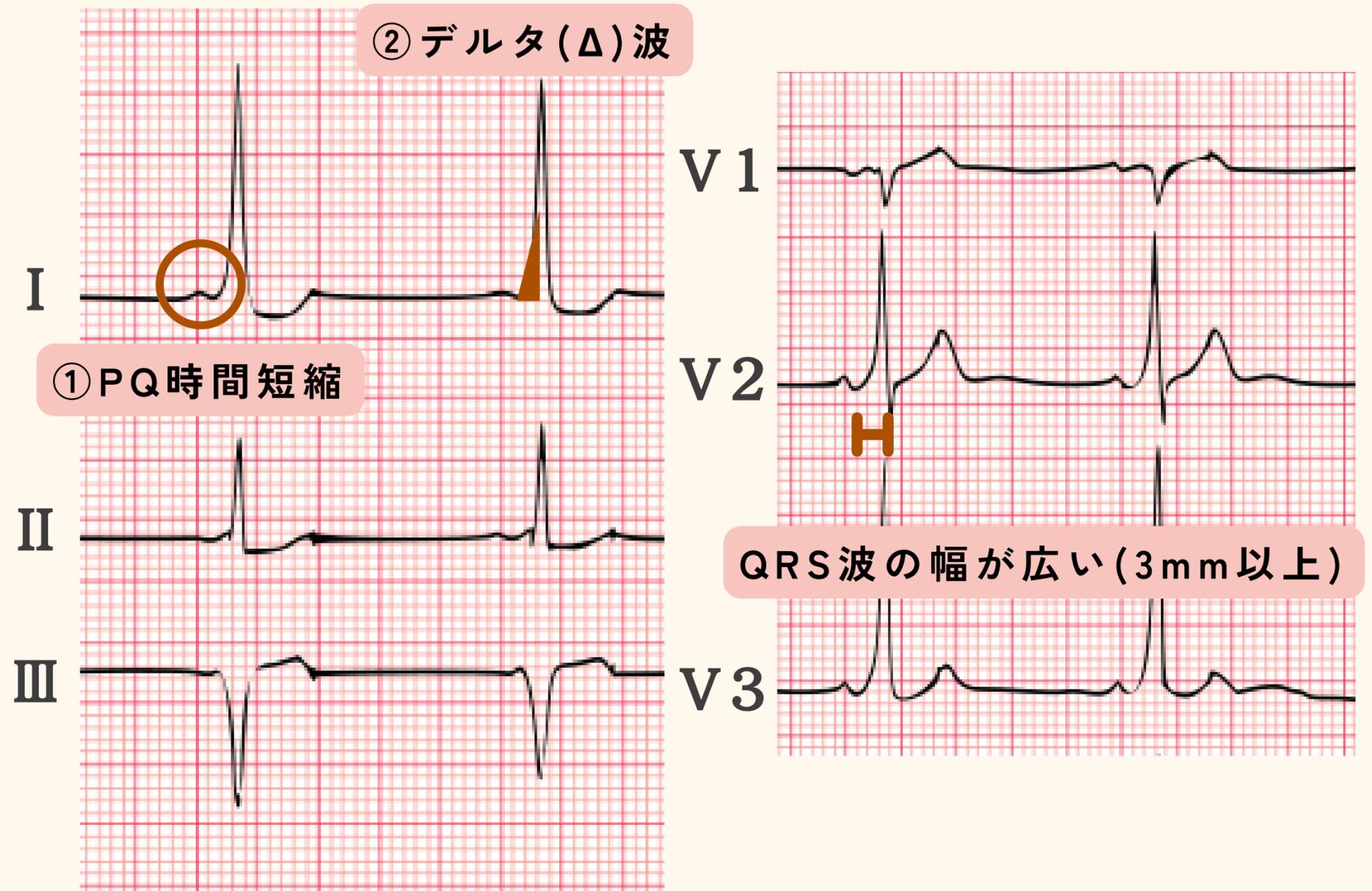
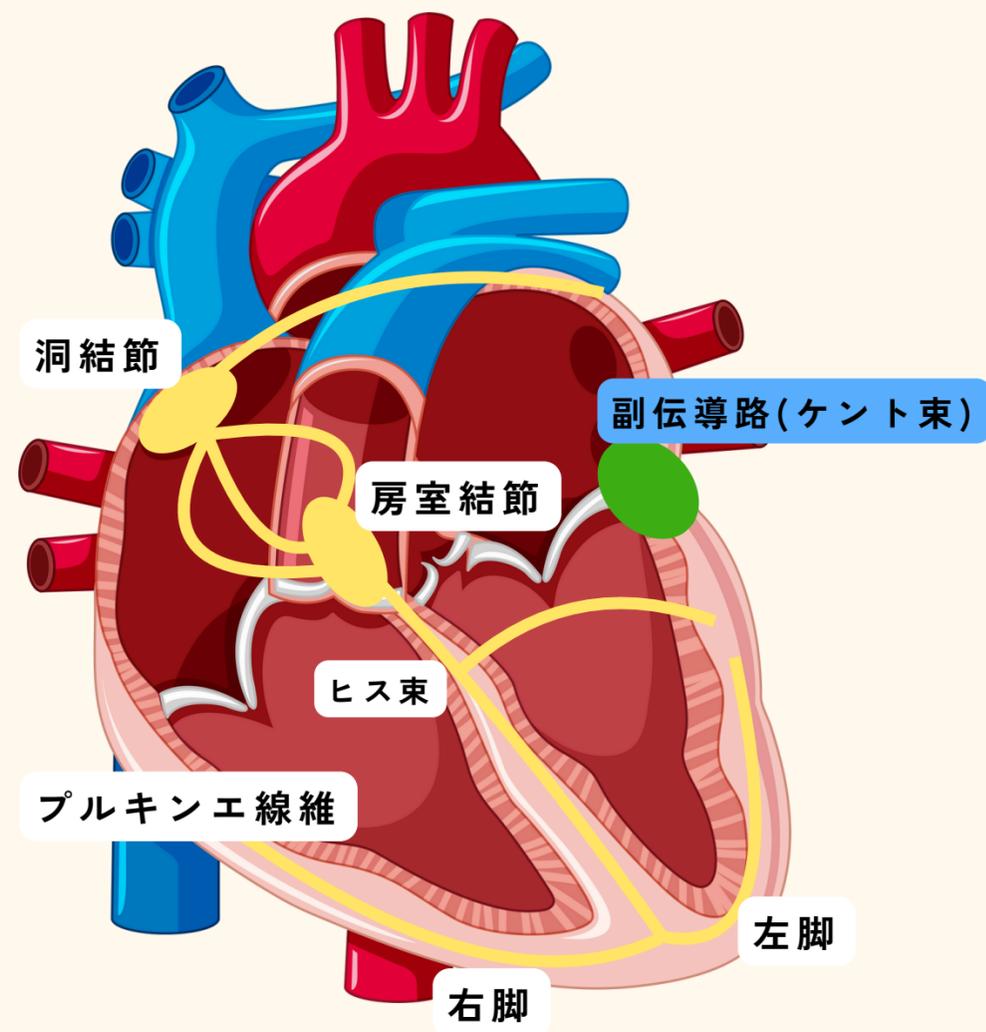


WPW症候群とは？

WPW（ウォルフ・パーキンソン・ホワイ特）症候群は、心房と心室の間に通常は存在しない「副伝導路」という余分な電気の通り道が先天的に存在する状態です。この副伝導路によって、電気信号が本来の房室結節を経由せず、異常に早く心室に伝わることで、心電図ではPQ時間の短縮やデルタ波（QRS波の立ち上がりが緩やかになる）が認められます。また、この副伝導路を通じて電気が心室から心房へ逆流することで、心房と心室を回る異常な電気回路（リエントリー）が形成され、発作性の頻拍や動悸を引き起こすことがあります。

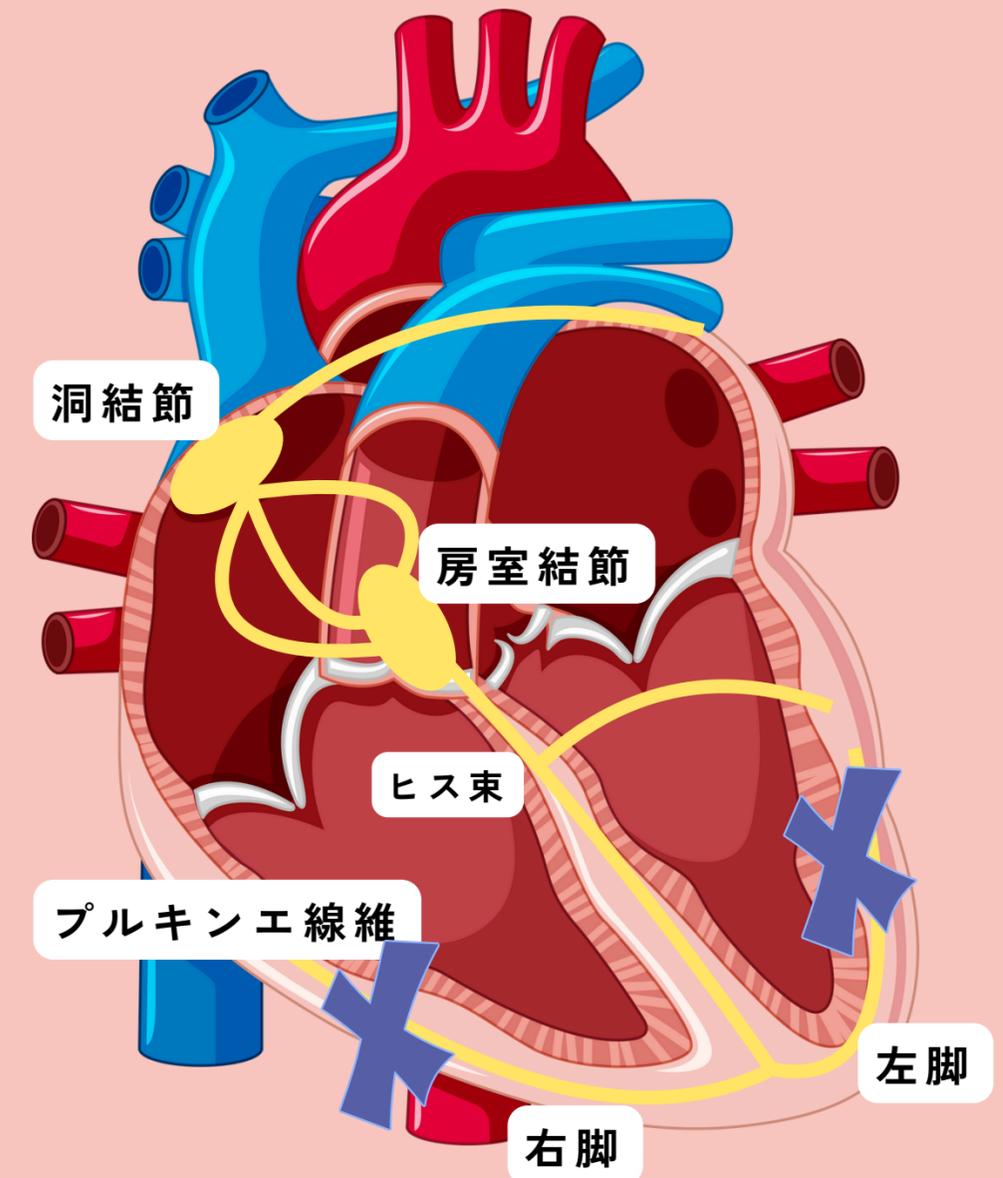


WPW症候群

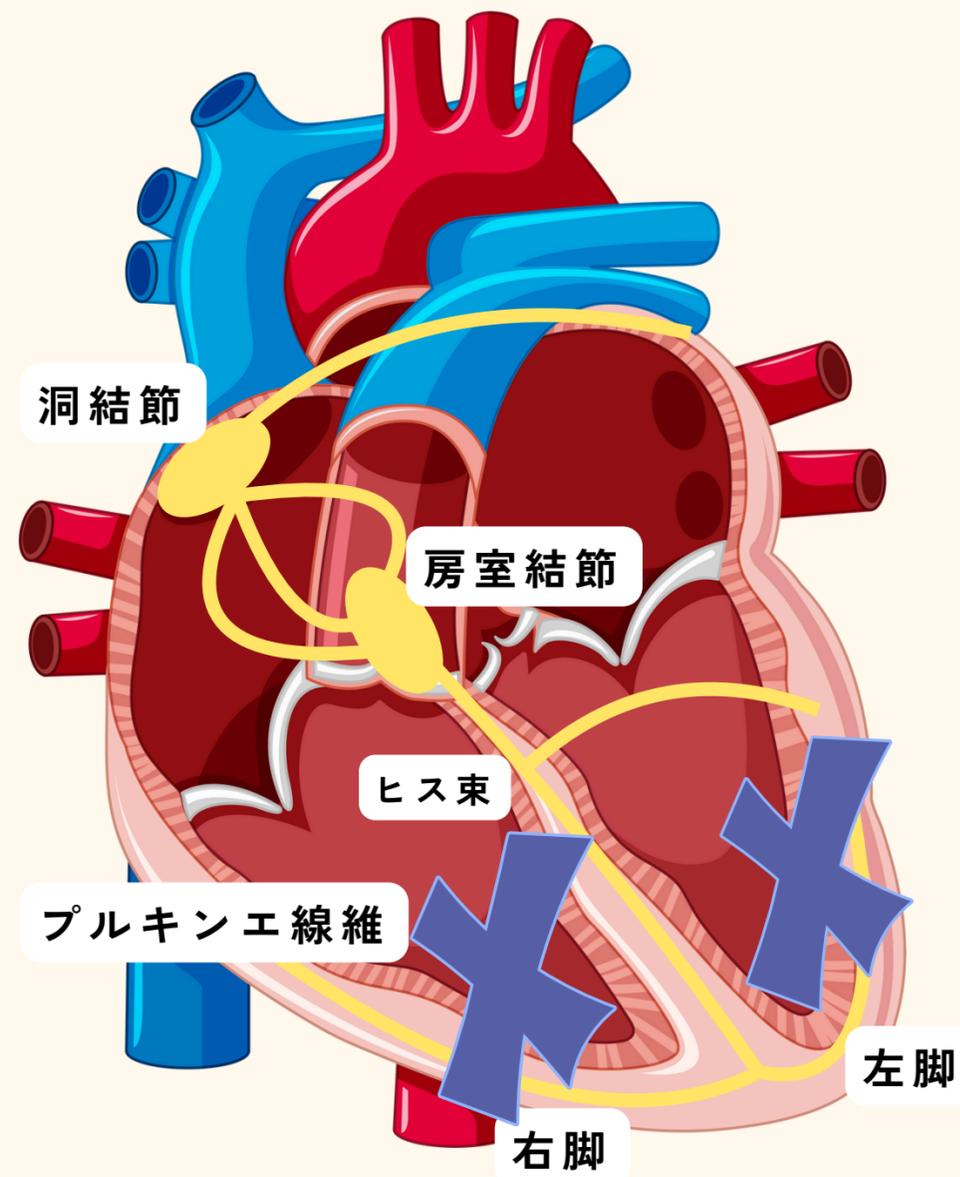


非特異的心室内伝導障害は？

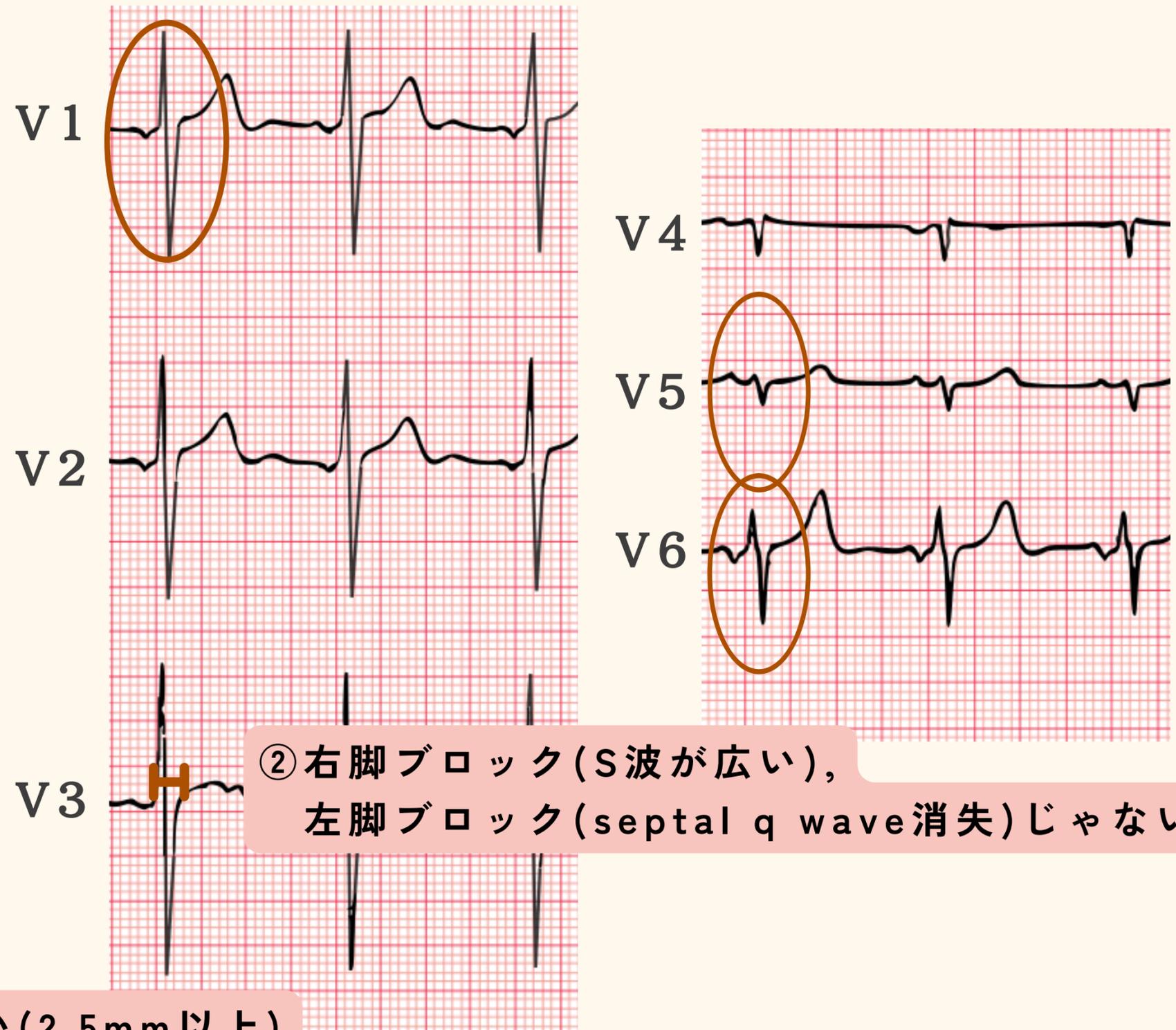
非特異的心室内伝導障害（IVCD）とは、右脚ブロックや左脚ブロックといった典型的な伝導障害の形をとらず、心室内での電気信号の伝わり方に異常がみられる状態で、心電図上ではQRS波の幅が広がるものの特定のパターンに当てはまらないのが特徴です。これは主に心筋梗塞や心筋症、重度の心肥大・拡大、電解質異常、薬剤性（Naチャンネル遮断薬など）といった心室全体の広範な障害や伝導遅延を示唆することが多く、場合によっては心機能の低下や不整脈リスクとも関連するため、基礎疾患の評価と適切な管理が重要となります。



非特異的心室内伝導障害



① 右脚ブロック(rsR'型),
左脚ブロック(rS型)じゃない

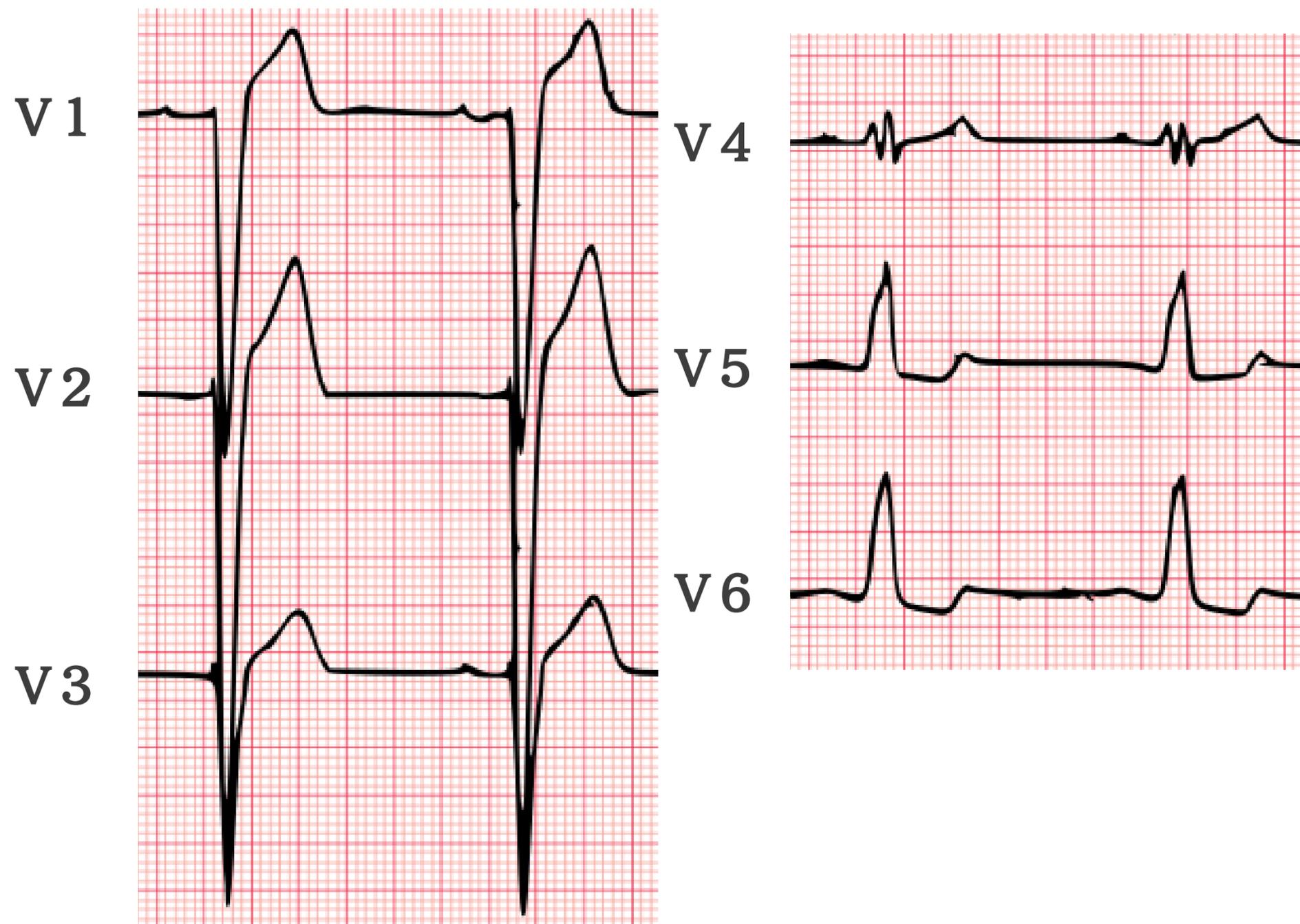


② 右脚ブロック(S波が広い),
左脚ブロック(septal q wave消失)じゃない

QRS波の幅が広い(2.5mm以上)

第1問

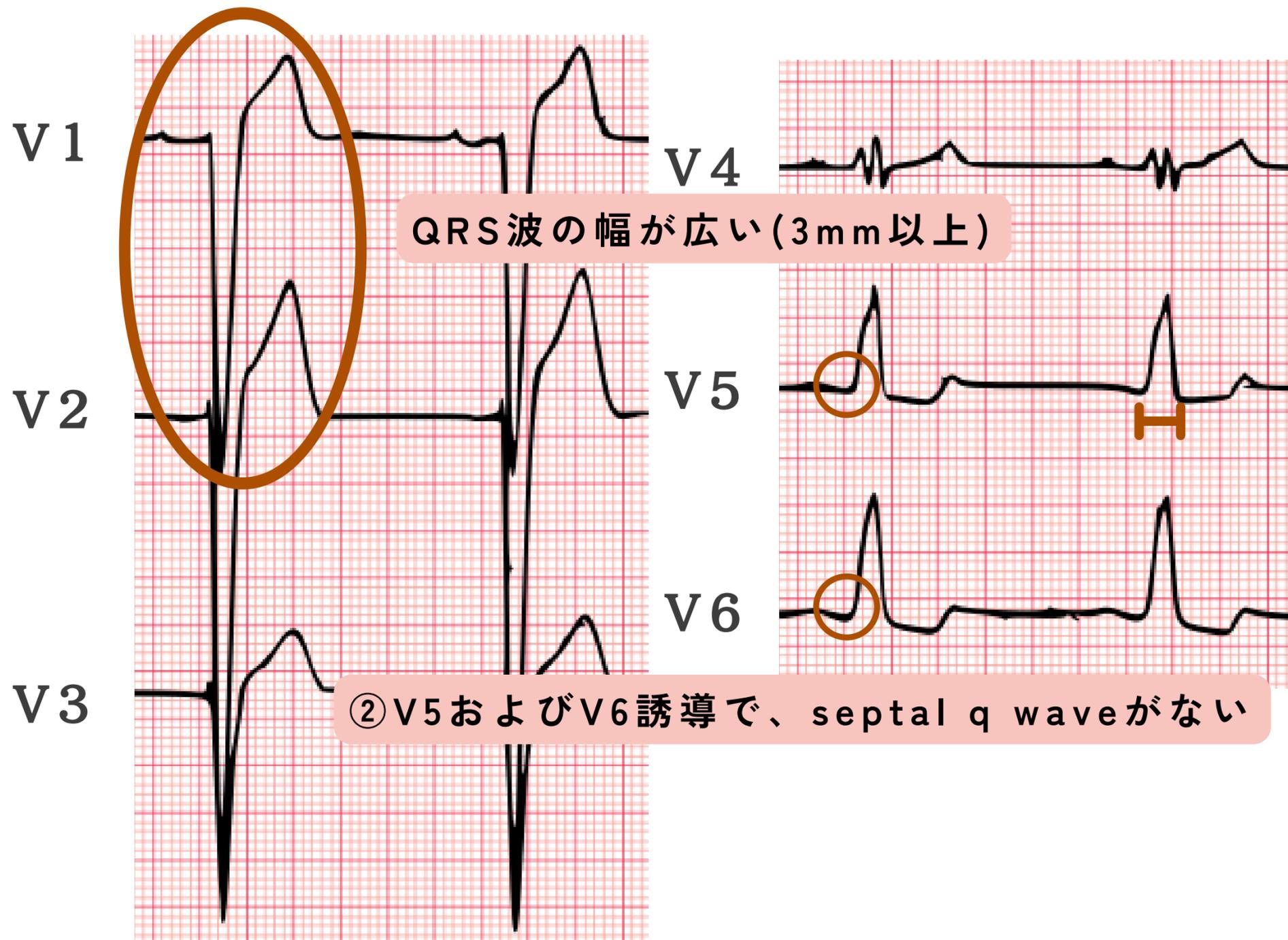
動画を一時停止して
答えを考えてね!



第1問

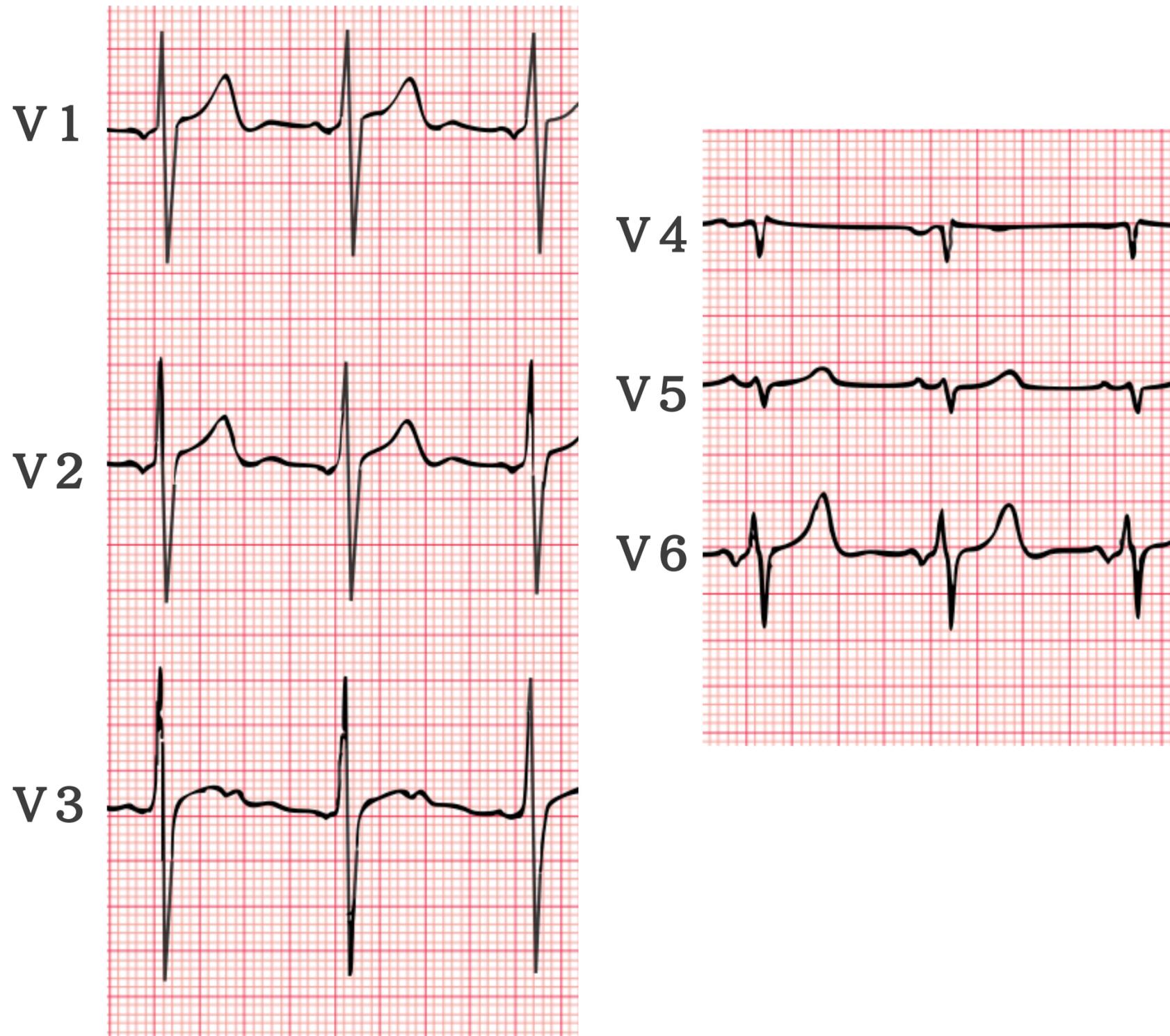
答え
左脚ブロック

① V1誘導において、rS型で幅が広くて深い



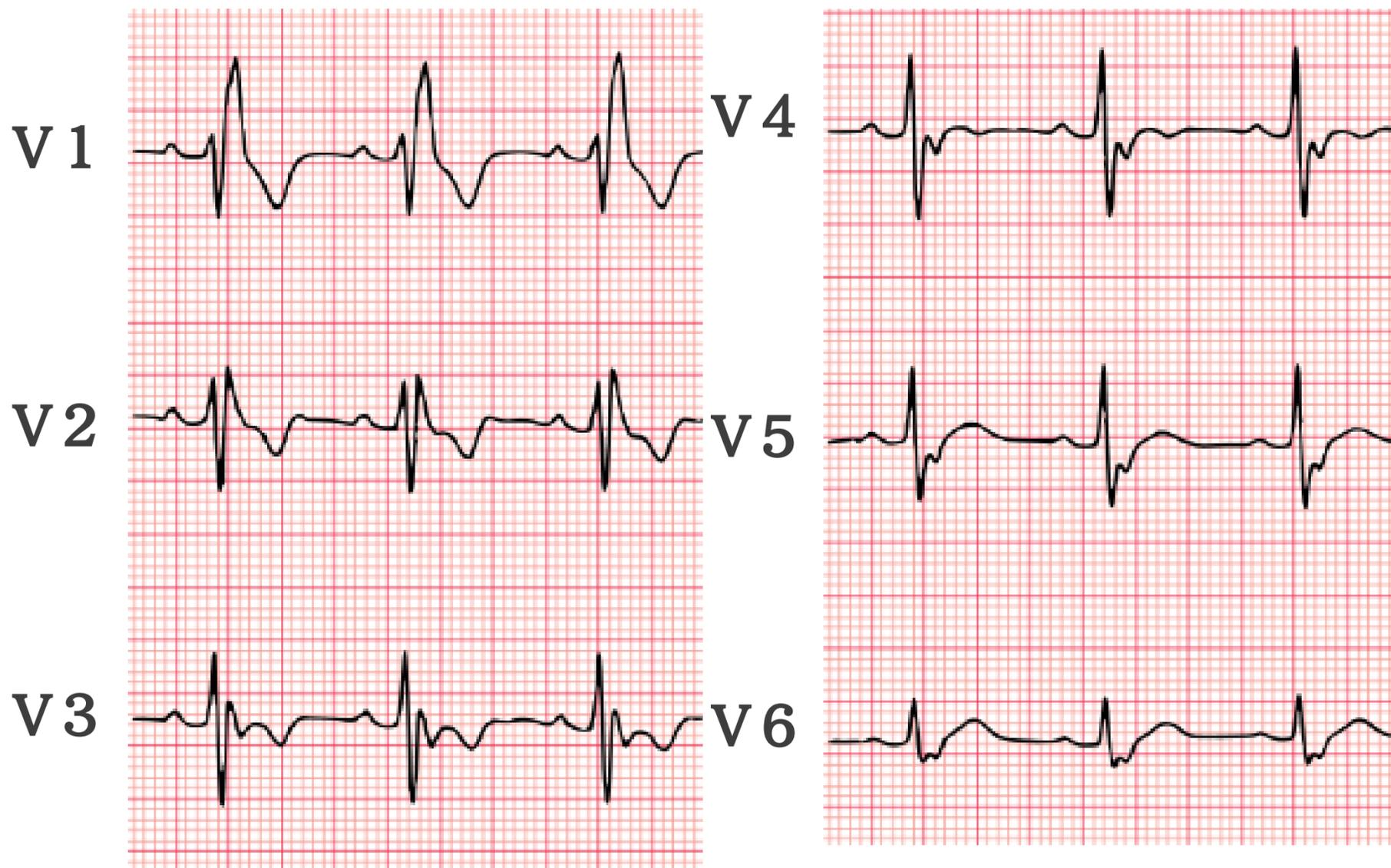
第2問

動画を一時停止して
答えを考えてね!



第3問

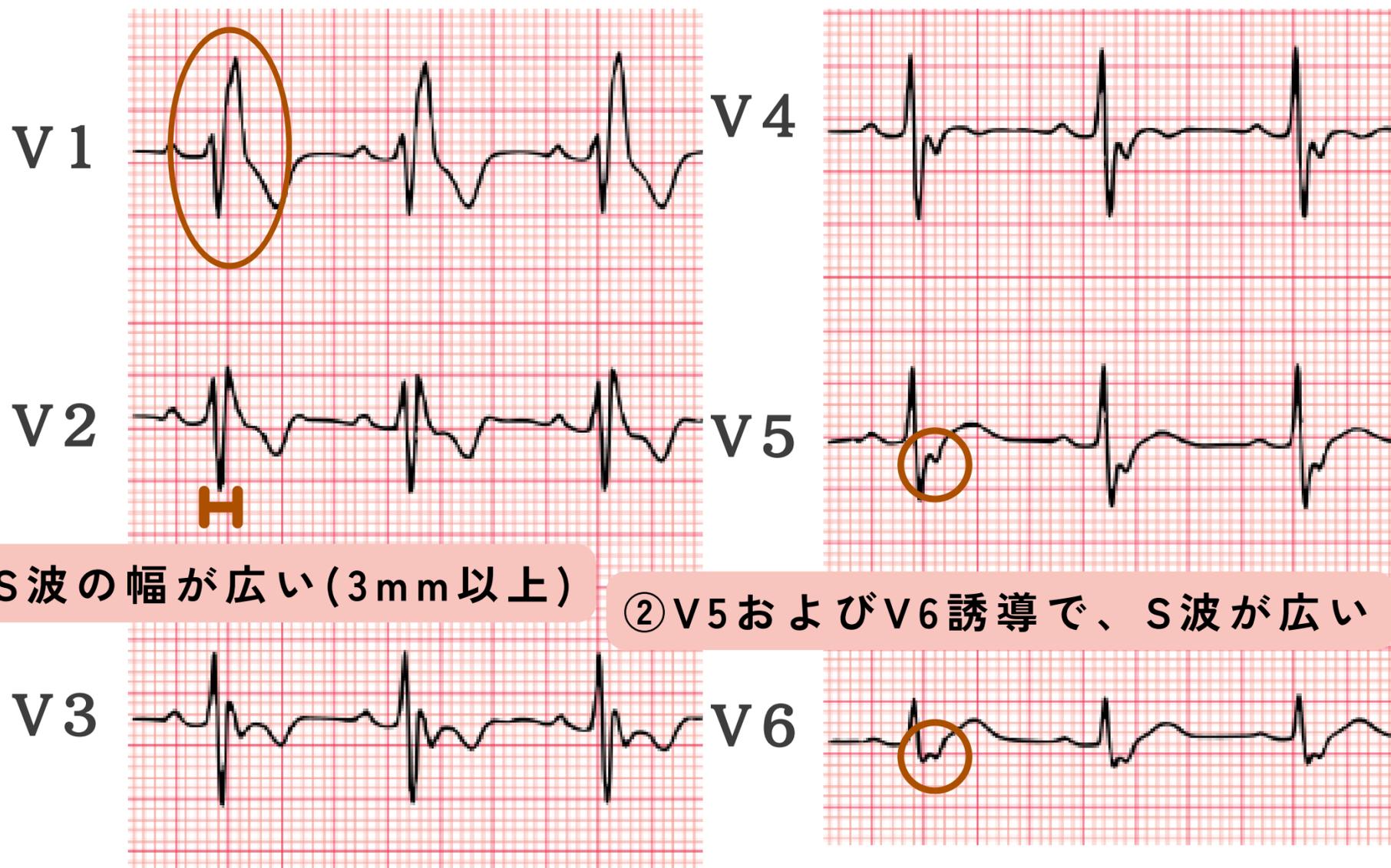
動画を一時停止して
答えを考えてね!



第3問

答え 右脚ブロック

① V1誘導において、rsR'型

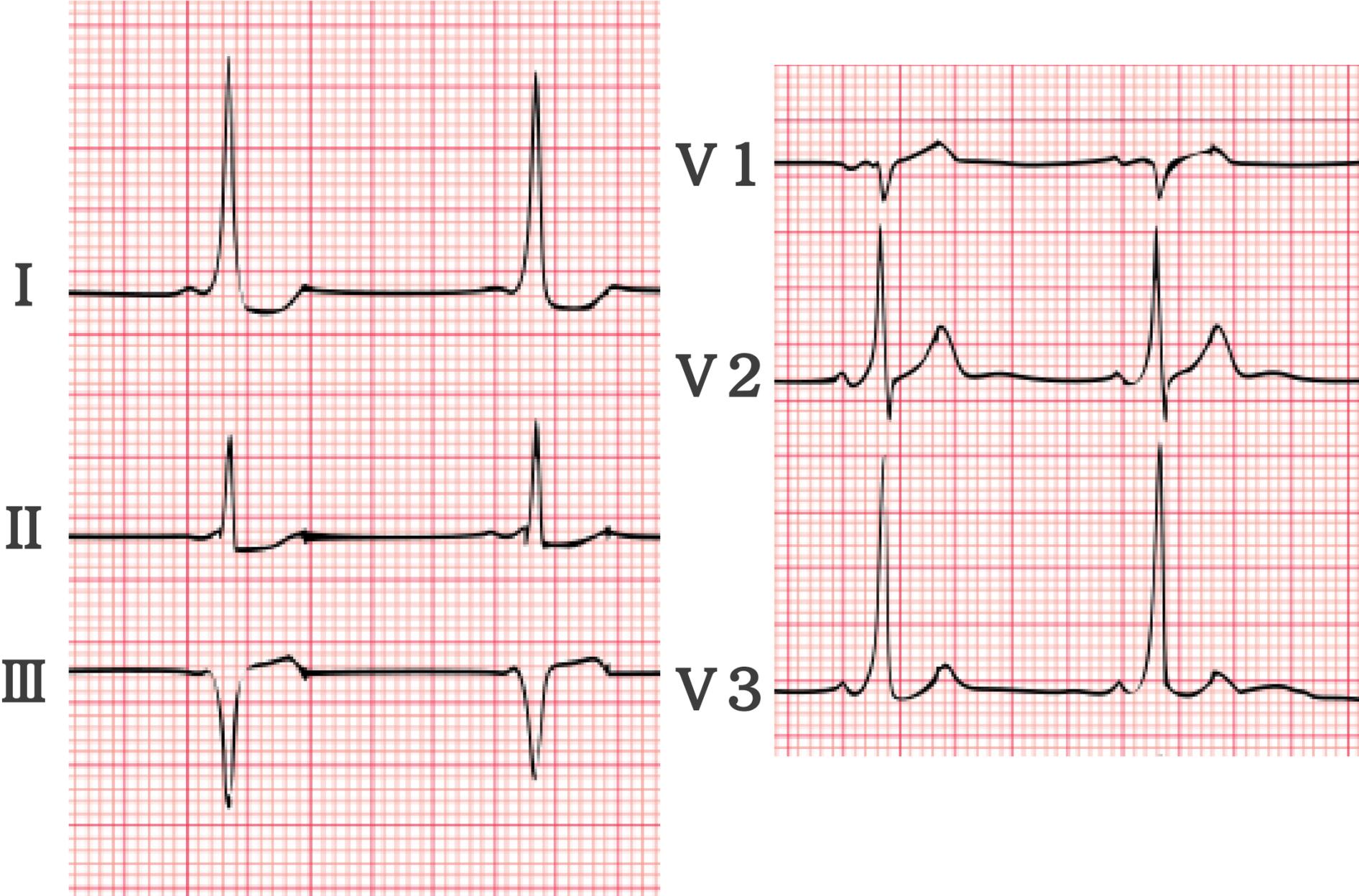


QRS波の幅が広い(3mm以上)

② V5およびV6誘導で、S波が広い

第4問

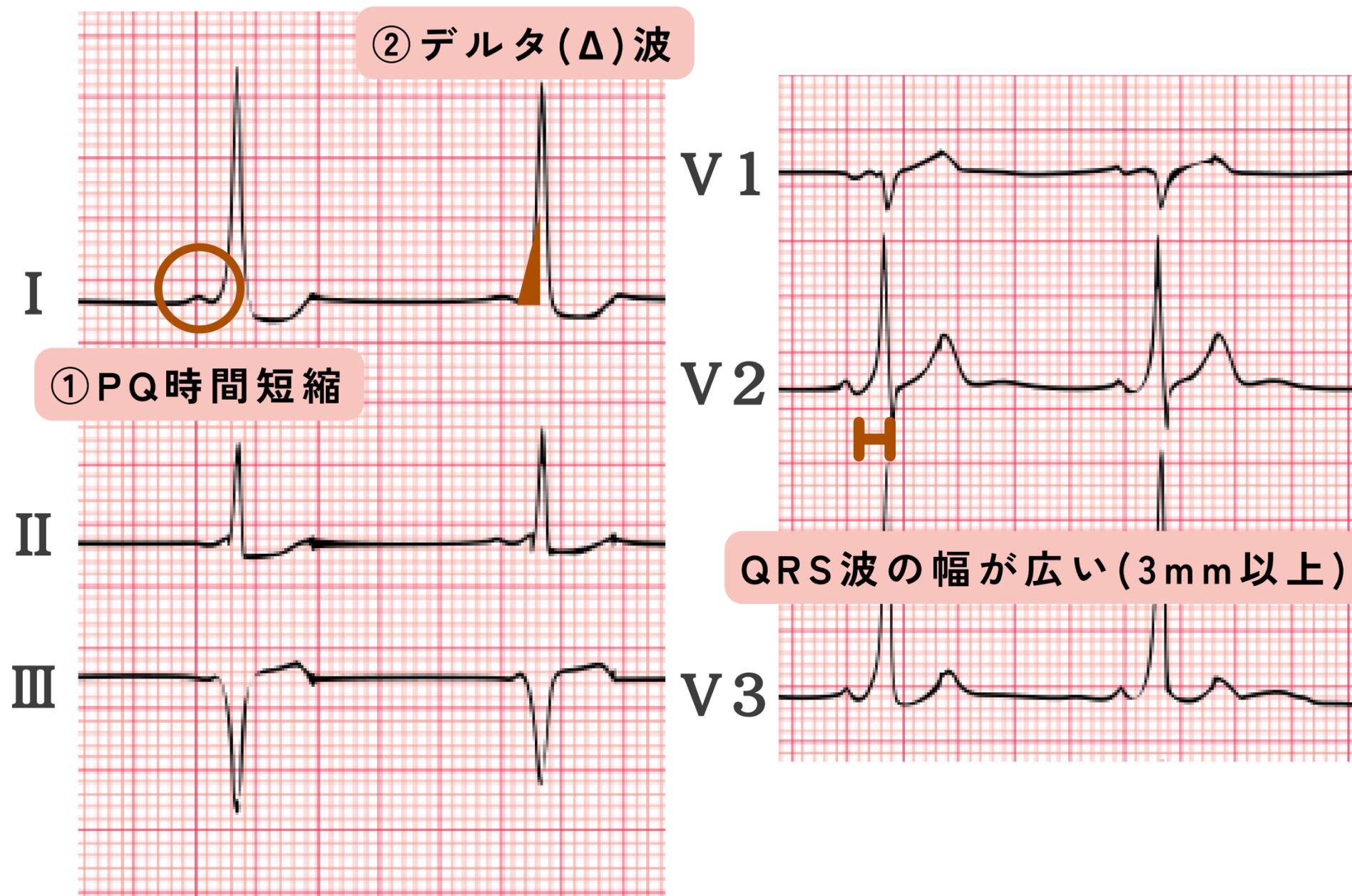
動画を一時停止して
答えを考えてね!



第14問

答え

WPW症候群



wideQRSのまとめ

ココだけは抑えておこう！！

QRSの幅が広い！！(3mm以上)

非特異的心室内伝導障害
は2.5mm以上

V1誘導において、rsR'型



右脚ブロック

V1誘導において、rS型で幅が広くて深い



左脚ブロック

①PQ時間短縮 ②デルタ(Δ)波



WPW症候群

右脚ブロックでも左脚ブロックでもない



非特異的心室内
伝導障害